

本気で!

脱炭素経営に取り組みたい! **企業** を募集します



豊田市脱炭素スクール (第1期募集)

豊田市は、2019年11月に、2050年「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言し、気候変動対策の取組を加速しています。国でも、2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを表明し、経済と環境の好循環を作っていく新たな成長戦略(グリーン成長戦略)を策定したほか、2021年5月には地域の再エネを活用した脱炭素化の取組や企業の脱炭素経営の促進を図る「地球温暖化対策推進法」の一部を改正するなど、脱炭素化への対応を、経済成長の制約やコストと考える時代は終わり、成長の機会と捉える時代に突入しました。

脱炭素社会を実現するためには、それぞれの事業者が、それぞれの道を探っていく必要があります。

企業等において自主的に脱炭素化への取組を進めていくため、**脱炭素経営のポイント** や **省エネ推進・再エネ導入の実践手法を学び合う場**「豊田市脱炭素スクール」を開校し、自社の脱炭素経営に率先して取り組む企業等を募集します。

なお、第1回は、開校講演会として、多くの方に参加していただける場として開催します。

開校講演会 (豊田市脱炭素スクール第1回) 「脱炭素経営の動向と視点を知る」



2021年10月22日(金)
15:00~17:00

会場:豊田商工会議所2階又は **オンライン**
(小坂本町1丁目25) (Zoom®)

定員:現地参加 50名※
・オンライン参加 上限なし

参加費無料/要申込
どなたでもご参加いただけます

**本スクールに関心のある方、
参加を迷われている方、
講演会のみ視聴したい方、
是非ご参加ください。**

当日事務局にて、スクールに関する
ご質問や相談なども受け付けます。

※今後の新型コロナウイルス感染状況によりオンライン参加
のみに変更になる可能性があります。

講師

松尾 雄介 氏

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
ビジネスタスクフォース ディレクター(Japan-CLP
事務局 エグゼクティブディレクター)

【プロフィール】

三和銀行(現三菱UFJ銀行)、環境投資顧問の株式会社グッドバンカーを経て
2005年より現職。2005年ルンド大学(スウェーデン)産業環境経済研究所修士
課程修了(環境政策学修士)。気候変動問題と企業の関わりについて一貫して研
究活動を実施。現在は日本の先進企業で形成され、脱炭素社会を目指す
Japan-Climate Leaders' Partnershipの事務局を務める。
受賞歴:2010年度 エネルギー・資源学会 第14回 茅奨励賞、環境省 第9回、
第11回 NGO/NPO・企業環境政策提言 最優秀賞

● 内容

- ・世界的な脱炭素化の動き
- ・気候変動によるビジネスのリスクと機会
- ・脱炭素経営やSDGsの広がりと取組メリット
- ・中小企業の実践事例など

■ 脱炭素スクールとは?

脱炭素経営や削減対策の基礎知識やポイントなどを学ぶ「講義」と、自社のCO₂削減効果のシミュレーションや事業計画の組立てを学ぶ「演習」の組合せで、より実践的に学べるスクールです。

【開催期間】 2021年10月~2022年9月 全10回の連続講座(第1期)

*第1回(開校講演会)のみどなたでも参加できます。

【対象】 市内の中小企業等の経営層、総務企画部門や環境部門等の責任者

*業種問わず。製造業、運輸業、不動産業、農林業、サービス業など

【定員】 20社程度(第2回以降)

*原則1社1名。応募多数の場合は、申込内容を参考にして調整致します。

本スクール受講により
企業価値の向上に
つながることが可能です。
【詳細は裏面】

■ 脱炭素スクールカリキュラム

【時間】 平日 15時から (講義のみは2時間、演習を含む場合は2時間30分を予定)

【方法】 豊田市内(現地開催)又はオンライン開催

※新型コロナウイルス感染症拡大の情勢をみながら判断します。

※第4回以降は、参加者の予定を確認した上で日程を設定します。

受講料無料 &
わかりやすくサポート

第1期はスタートアップ事業
として、無料で実施します。

<前期：2021(令和3)年度>

第2回

2021年11/19(金)
15:00~17:30

自社の状況を
見える化する

○講義

- ・エネルギー消費、サプライチェーン排出量の考え方
- ・脱炭素化に向けた削減対策の概要
- ・企業の事例紹介など

○グループ演習

- ・自社のエネルギー使用量と取組について整理、分析を行います。グループに分かれて自社の状況を共有し、互いの気づきに繋がります。

講師 ○畑中 直樹 氏

大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)
(株)地域計画建築研究所(アルパック)取締役 部長 (サステイナブル
ティマジメント) 兼名古屋事務所長

第5回

2022年3月予定

脱炭素化に向けた
はじめての一步をつかむ

○グループ演習

- ・第4回テーマのうち、すぐに取り組みたい内容について、テーマごとにグループ内で提案・ディスカッションを行い、各自の提案をブラッシュアップします。

○共有・ディスカッション

- ・各社からの提案
- ・講師からのコメントと全体ディスカッション

第3回

2021年12/14(火)
15:00~17:00

削減対策のポイント
を知る ①

○脱炭素経営の実践企業からの取組紹介

- ・脱炭素経営に実際に取り組んでいる市内外の企業より、取組に至った経緯や具体的な取組内容、社内での推進のポイントなどをお話いただけます。

話題
提供者

○実践企業ご担当者

第4回

2022年2月予定

削減対策のポイント
を知る ②

○講義

- ・国の施策と支援メニューの紹介
(環境省や経済産業省などからご紹介いただく予定です)

○グループ演習

- ・PPA 再エネ施設導入や再エネ電力調達、省エネ対策、EVやバイオマスなどのエネルギー転換、など、興味のあるテーマにわかれて勉強会
- ・グループ内で学び合うことで知識を深め、疑問点の解決や事業化のポイントなどを明確にします。

<後期：2022(令和4)年度>

第6~8回

2022年5月~7月

削減対策・計画
の組み立てを実践する

○個人ワーク&グループ演習

- ・ワークシートをもとに、個人ワークとグループでの共有・確認を進めながら、自社の削減対策の検討や算定、計画の組み立てを行います。
(第6回予定) ・排出量算定と削減目標の設定
・取組内容と削減効果シミュレーション①
(第7回予定) ・取組内容と削減効果シミュレーション②
・事業スケジュールの検討
(第8回予定) ・計画・取組のとりまとめ
・事業体制

第9回

2022年8月予定

成果とりまとめ

第10回

2022年9月予定

修了成果発表会

グループ演習は、参加される企業様のテーマに沿った講師
(上記講師や実践者等)をお招きし、参加者のサポートを行います。

【参加にあたって】

・本スクール受講後、自社の脱炭素化に向けた事業計画や取組などを発信していただくことを受講の条件とします。

[各回研修後に宿題としてテーマの投げかけあり。スクール期間中はメールやWeb会議でのサポートが可能。]

・以下の修了要件を全て満たした方に、「脱炭素スクール」修了認定を授与します。

【修了要件】 ①全ての講座を受講 ②本講座成果のとりまとめ・発表 ③企業としての成果の発信

■ 申し込み方法 (開校講演会・脱炭素スクール)

・右記リンクから必要事項①~⑩を登録 (あいち電子申請・届出システム)

【必要事項】①参加回 (第1回・すべて) ②第1回の参加方法 (現地・オンライン) ③事業者名 ④業種
⑤部署 ⑥参加者氏名 (フリガナ) ⑦連絡先 (住所、電話番号、メールアドレス) すべてに参加される方は、
①~⑦に加えて、⑧学びたい点 ⑨脱炭素化に向けた自社の課題⑩本スクールの参加への意気込み

・申込期限：10/15(金)まで (脱炭素スクールの第2回目以降は10/29(金)まで)

■ 問合せ

豊田市環境部環境政策課「豊田市脱炭素スクール」担当

E-mail : kansei@city.toyota.aichi.jp Tel : (0565) 34-6650

あいち電子申請・届出システム



<https://shinsei.e-aichi.jp/city-toyota-aichi-u/>